

BUTSUDORI:

The Photographic Expression
of "Objects"

2025.1.18^土-
3.23^日



安井 仲治《斧と鎌》1931 (printed 2010) 東京都写真美術館蔵

滋賀県立美術館開館40周年記念 | Shiga Museum of Art 40th Anniversary
ブツドリ：モノをめぐる写真表現

会場：滋賀県立美術館 展示室3
滋賀県立美術館



文化で未来を光輝に!

Anniversary

Shiga Museum of Art
滋賀県立美術館

開場時間：9:30-17:00 (入場は16:30まで) | 休館日：月曜日 (ただし2月24日[月・振休]は開館し、2月25日[火]は休館)

入場料：一般1200円 (1000円) | 高大生800円 (600円) | 小中生600円 (450円)

*同時開催中の常設展もご覧いただけます。| *()内は20名以上の団体料金 | *身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳などをお持ちの方は無料

主催：滋賀県立美術館、京都新聞 | 特別協力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館 | 助成：公益財団法人DNP文化振興財団

企画：芦高 郁子 (滋賀県立美術館学芸員)

BUTSUDORI:

The Photographic Expression of "Objects"

2025.1.18±-3.23日



1=撮影:ホンマタカシ『物』2012年刊行 猪熊コレクションより 2012 | 2=小川 一真《唐招提寺 破損仏・鼓樓》1888 東京都写真美術館蔵
 3=島 巖谷《鮎》1860年代 個人蔵(群馬県立歴史博物館寄託) | 4=山沢 栄子《What I Am Doing No.77》1986 東京都写真美術館蔵
 5=高山 正隆《静物》1920-1929 東京都写真美術館蔵

[アクセス]

◎公共交通機関をご利用の場合

JR琵琶湖線(東海道本線)「瀬田駅」(京都駅から普通電車で約17分)
 (京阪電車は「京阪石山駅」からJR乗換え)下車、「大学病院」行きのバスに乗車(約10分)、
 「県立図書館・美術館前」または「文化ゾーン前」下車(便によって停まるバス停が異なります)、
 美術館までは徒歩約5分

◎お車をご利用の場合

新名神高速「草津田上インター」から約5分、びわこ文化公園駐車場(無料・3か所)利用、
 美術館までは徒歩約5分

*なるべく公共交通機関をご利用ください。

*高齢や障害などで歩行が困難な方がいらっしゃる場合は、びわこ文化公園駐車場の
 有人ゲートからお車を乗り入れて、美術館の前までお越しいただけます。

[お問い合わせ]

滋賀県立美術館 | 〒520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1 | TEL: 077-543-2111(電話受付時間 8:30-17:15) / FAX: 077-543-2170
 E-MAIL: info@shigamuseum.jp | Website: https://www.shigamuseum.jp/



ふと目に入った日常の「モノ」にレンズを向ける。カメラを手にしたことのある人であれば、誰もが経験したことがある行為ではないでしょうか。カメラからスマートフォンへ、撮影するという行為はさらに一般的になり、SNSの普及により「モノ」を撮影した多くの写真が世界中に溢れています。

タイトルの「ブツドリ(物撮り)」という言葉は、もともとは商業広告などに使う商品(モノ)を撮影すること。この「ブツドリ」を「物」を「撮」という行為として広く捉えてみると、写真史の中で脈々と続いてきた重要な表現の一形式であることに気がつきます。

本展は「モノ」を撮影することで生まれた写真作品を、この「ブツドリ」という言葉で見なおし、日本における豊かな表現の一断面を探る試みです。重要文化財である明治期の写真原板から、文化財写真、静物写真、広告写真、そして現代アーティストの作品まで、200点以上の写真作品を出品します。

わたしたちにとって身近な「ブツドリ」。その奥深さを覗いてみましょう。

関連イベント ※最新情報、詳細は当館webサイトでご確認ください。

◎シンポジウム「モノと写真:近代から現代へ、その視点」

日時:3月9日[日] | 時間:13:00-15:45

場所:滋賀県立美術館 木のホール

登壇者:

金井 直(信州大学 人文学部 教授)

前川 修(近畿大学 文芸学部 教授)

光田 ゆり(多摩美術大学大学院教授・アートアーカイヴセンター所長)

事前申込不要/無料

◎グラフようちえん in 滋賀県立美術館

「写真作品を撮ろう」

幼児から小学生まで参加できるワークショップ。

日時:2月8日[土] | 時間:10:00-16:00

場所:ギャラリー | 企画:graf | 事前申込不要/無料

◎たいけんびじゅつかん「フォトグラムに挑戦!」

小・中学生とその保護者対象の展覧会鑑賞&創作体験。

日時:1月26日[日]、2月23日[日]

時間:13:00-15:30 | 場所:ワークショップルーム

定員:各回10名 | 講師:徳永写真美術研究所

要事前申込/抽選/保護者の方は要観覧料/要参加費

◎ギャラリートーク

当展覧会の担当学芸員が見どころを解説。

日時:1月18日[土]、2月16日[日]、3月15日[土]

時間:14:00-15:00 | 場所:展示室3 | 定員:各回20名

事前申込不要/当日先着/要観覧料

展示室の中に「自分で撮影してみる」コーナー。

いつでも誰でも参加できます。

場所:展示室3 | 事前申込不要/無料/要展覧会チケット

If you have ever picked up a camera, you have most likely aimed the lens at the everyday objects around you. The act of taking pictures has become even more widespread with the shift from cameras to smartphones. Furthermore, the rise of social media has caused an overflow of photographs of "Objects" across the globe. The word *butsudori* originally referred to the act of photographing products used in advertisements. However if we focus on the act of photographing objects, we realize that it is an important form of expression that has continued throughout the history of photography. The exhibition is an effort to reframe photographic works that result from capturing objects by taking inspiration from the term *butsudori*, looking at one of the many facets of the rich photographic expressions in Japan. This exhibition presents over 200 works, including original photographic negatives from the Meiji period designated as important cultural properties, photographs of cultural properties, still life, advertisements, and works by contemporary artists.

Butsudori is an act very close to us. Let's take a look into its depths.

Period: 2025.1.18 Sat-3.23 Sun

Opening Hours: 9:30-17:00

(Tickets available until 30 minutes before closing.)

Closed: We are closed on Mondays

(The museum will be open on Monday, February 24

and closed on Tuesday, February 25.)

Venue: Shiga Museum of Art: Gallery 3

Organizers:

Shiga Museum of Art and The Kyoto Shimbun

With the special cooperation of:

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

Grants from:

DNP Foundation for Cultural Promotion

Curator: Ashitaka Ikuko (Shiga Museum of Art)

Admission:

Adults 1200 (1000) JPY

University & High School Students 800 (600) JPY,

Junior High School & Elementary School Students

600 (450) JPY

小さなお子さんがいる、障害があるなど、
 何らかの理由で来館を迷っている方へ

当館では、展示室でもしんと静かにする必要はなく、おしゃべりしながら過ごしていただけます。また、目が見えない、見えづらいなどの理由でサポートや展示解説をご希望される場合や、その他、来館にあたって不安がある場合には、
 [お問い合わせ]からご連絡ください。事前の情報提供や、当日のサポートのご希望に、可能な範囲で対応いたします。

滋賀県立美術館メンバーズ

年額2400円(一般)で何度でも観覧いただけるお得な

年間パス(滋賀県美メンバーズ)入会受付中

次回展覧会予告:あなたもこれで落語通!?美術作品で味わう噺の世界
 「近江八景」から「頭山」まで(仮)

滋賀県立美術館開館40周年記念 | Shiga Museum of Art 40th Anniversary
ブツドリ:モノをめぐる写真表現

会場:滋賀県立美術館 展示室3
滋賀県立美術館



Anniversary

